

# 東朽網

## 学校教育目標

徳・知・体の調和のとれた  
人間性豊かな実践力のあ  
る子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

自分が好き・友達が好き・先生が好き・学校が好き

- やさしく、仲良く助け合う【いじめ〇】(徳)  
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子ども
- かしく (知)  
進んで学び、よく聞き、深く考え、表現できる子ども
- たくましく (体)  
体づくりにも励み、健康でたくましい子ども

第11号 令和元年11月5日発行 (文責) 校長 井津 京香

## 学校開放週間のお知らせ 11月18日(月)~21日(木) ※行事等については学校だより10号をご覧ください

【お知らせ】東朽網市民センター「重鰐の里文化祭」で全校児童の作品を展示させていただいています。9日(土)は、10時~17時、10日(日)は、10時~15時です。展示会場は、2階小会議室です。ぜひ、ご観覧ください。

### 3年生 社会見学 TOTO小倉第一工場 ⇒ 北九州市役所 ⇒ いのちのたび博物館 10月23日(水)

はじめに、TOTO 第一工場へ見学に行き、便器や手洗い用の陶器が、温度と湿度が管理された少し蒸し暑い工場で、1日に800個製造されていることに子どもたちは驚いていました。またミュージアムでは、便器などが作られるようになるまでの歴史をクイズを解きながら楽しく学ぶことができました。北九州市役所からは、東西南北の土地の様子や使われ方の違いを観察しました。

いのちのたび博物館では、昔の道具や生活の様子などを見学しました。人々の生活の知恵や工夫、努力してきたことにも気付いていました。



- ・TOTOの一番目の社長さんが、トイレが売れないときもあったけど、あきらめずに一生懸命仕事をしたそうです。工場がつぶれそうになったときは、食器も作ったそうです。私は、あきらめずに努力する人になりたいと思いました。
- ・工場では、約2000人が交代で24時間働き続けているそうです。また、色を塗る仕事や重いものを持ち上げるなどの危険な作業は機械を使うそうです。大事な検査は、人がハンマーで叩いて音を聞き分けているそうです。
- ・市役所の15階の展望台から見下ろす景色は、とても綺麗でした。小倉城や紫川や海が見えました。望遠鏡で遠くも見えました。小倉南区には高い山が多くて、小倉北区にはビルや家がたくさんありました。
- ・いのちのたび博物館には、不思議な生き物の模型やはく製があってわくわくしました。はく製は、全部本物の生き物の死体を使ったものだと知って驚きました。

### 5年生 社会見学 日産自動車九州工場 ⇒ 北九州エコタウン(自動車・OA 機器リサイクル) 10月24日(木)

社会科で学ぶ「モノづくり」と「環境」の学習に生かすため、自動車工場と北九州エコタウンを見学しました。工場では、ロボットが危険な作業や人間が入ることのできない細かい部分の作業を担っていました。働く仲間として連携している工場の人々の温かい気持ちを感じることができました。また、乗る人の立場になって、工夫や努力を積み重ねていくことの大切さも実感しました。

リサイクル工場では、役目を果たした工業製品等が、どのように生まれ変わっていくのかについて、興味をもって見学しました。

- ・自動車工場では、プレス→溶接→塗装→組み立て→最終検査→輸送という流れで仕事をしていることが分かりました。約24時間かけて、1台1台丁寧に作っていることや人とロボットが協力して作っていることを知りました。
- ・北九州エコタウンは、日本で最初に認められた一番大きいリサイクル施設です。ここでは、「資源循環型社会」を目指しているそうです。使えば使うほどなくなっていく資源を守ることや地球温暖化を防止することや食品ロスを減らすことなどに取り組んでいました。



### 3年生 国際交流学習「ハロウィン体験」10月25日(金)

総合的な学習の時間に、国際理解教育の一環として、アメリカ(ハワイ)の伝統文化や生活の様子、学校生活の様子などについて学びました。子どもの頃の生活や学校の様子などについて、自分たちの生活と比べながら興味深く聞いていました。ハロウィンパーティーでは、リズムカルに体を動かしながら英語の歌を歌ったり踊ったりして、楽しく過ごしました。



- ・ハワイは、フラダンスやハイビスカス、火山が有名です。フラダンスは、手話と同じで、踊りでお話しているそうです。
- ・ハワイやハロウィンのことなどたくさん教えていただきました。ハロウィンは収穫祭で、もともとヨーロッパで始まったそうです。私は、いろいろな話を聞いて、日本語と英語の両方が話せるようになりたいと思いました。
- ・ハワイはとても暖かく、ロコモコなどの食べ物やいろいろな果物がたくさんあるそうです。果物(バナナ・ココナツ・パイナップルなど)は、買わなくてもお家でできていたそうです。
- ・学校は、9月~6月だそうです。スクールバスで通っていたそうです。朝は、7時から始まって、毎日7時間勉強していたそうです。自分が勉強したい教科を選ぶことができたそうです。

## 5. 6年生 総合「自分らしく生きるために」～人権教育～ 10月29日(火)

全ての人々が「自分らしく生きていける社会」をつくるために、性的マイノリティ(LGBT)について学び、自らをトランスジェンダーだとカミングアウト(告白)した音楽インストラクターのローズさんと出逢いました。

カミングアウトを決意したとき、「やっと自由になれた。やっと自分らしくなれた。」と感じると同時に、自分を支えてくれる人の存在と励ましに喜びを感じたそうです。

そして、子どもたちに、「世の中には、自分たちのような少数派が違う目で見られ、“オカマ”などという言葉で区別され、悲しい思いをしている人がいる。小学校でこのように学習をしてもらって、こうやってたくさん子どもたちと友達になれることは、とても幸せです。たくさんの人と出会う、たくさんの人と友達になりたいと思っています。性の違いや姿、形の違いだけを学ぶのではなく、全ての違いを認め合える社会にしたい。それぞれの生き方は違って当たり前。私は私だし、あなたはあなた。人生何があるかわからない。だから、人生を楽しみたいし、楽しんでほしい。自分の生き方を最後に決めるのは自分。誰かのせいにするのではなく、自分で決めて自分で責任をもって頑張ること。それが大切だと思う。」また、「“私らしく自由に生きたい”という『自由』の意味は、人に迷惑をかけないという条件のもとで、自分らしく生きること。ただの“自分勝手”ではなく、相手を思いやりながら、相手に寄り添い、自分らしく生きること。」と、とても温かく語っていただきました。そして、自分の生き方や仕事に誇りをもつことの大切さや「夢」を語り、自分の「夢」に責任をもって生きることの素晴らしさについて熱く語っていただきました。



- ローズさんは、心が強い人だと思いました。自分がトランスジェンダーだということに気付いたとき、家族や周りの人に話せた勇気にうらやましいなと思ったし、すごいなとも思いました。差別を受けている人はたくさんいると思います。多数派の人が少数派の人を受け入れてあげれば、自信がもてて、自分らしく生きられると思います。
- ローズさんが、自分らしい生き方で生きていることが分かりました。勇気を出して周りの人に相談したとき、優しく受け止めてくれた周りの人はすごく優しいと思いました。私も、そんなふうになりたいと思いました。
- LGBTの人たちは、自分の思いを話せなかったり、話しても認めてもらえなかったりしてつらい思いをしていると分かりました。もし、自分に相談してくれたら、最後まで話を聞いて、自分の考えを伝えようと思いました。
- ありのままの自分でのびのびと生きているローズさんは、すごくかっこいいと思いました。体と心の性が違うだけで、周りの人と何も変わらないと思いました。これから、LGBTについて理解する人が増えて、誰もが自分らしく生きられるようになって欲しいです。もし、男子がスカートをはいても、女子がズボンをはいても平等に仲良く接したいです。
- 僕は、差別する人たちに対して、あらためて“悪いこと”だと感じました。それは、ローズさんの満ちあふれた自信とありのままの生き方に同感したからです。社会から、差別・いじめをなくすために、自分らしく生きやすい世の中にしていくことが大切だと思いました。寄り添い、支えてあげられる自分になりたいとあらためて感じました。
- ローズさんの生き方がすごいと思いました。これから、周りの目を気にしている人がいたら、味方になってあげようと思いました。それぞれ自分の個性があることが大切で、その個性を知り、受け入れることができる人になりたいです。

## 1年生 朽網保育園・くさみ幼稚園の年長さんとの交流会 10月29日(火) 30日(水)

来年新1年生になる園児との交流会をしました。胸を張って元気よく挨拶をして交流会が始まりました。ゲームや学校探検について優しく分かりやすく説明したり、体を低くして目線を合わせてゆっくり話をしたりする姿に成長を感じました。

- 保育園や幼稚園のお友達と仲良くなれたので楽しかったです。1年生になったら、また一緒にいっぱい遊びたいです。そして、もっともっと仲良しになりたいです。
- いろんな説明をしたとき、少し緊張しました。2年生の教室に入れてうれしかったです。かけ算の勉強をしていました。みんなノートにきちんと書いていました。
- 幼稚園や保育園の先生が、「すごいね。」と、ほめてくれたのでうれしかったです。
- どんぐりごまを作るのが大変だったけど、とっても喜んでくれたので、みんなで一生懸命作ってよかったと思いました。



## 5年生 朽網小学校とのバスケット交流会 10月31日(木)

約2か月間、体育の学習や朝休み昼休みに練習に励み、パスやドリブル、シュートなどの技能を向上させると共に、友達を信じ、力を合わせてプレーすることを学びました。チームで話し合って作戦を立て、課題を見つけその改善方法を考えることやチーム同士でアドバイスを積極的に行うことなどを積み重ねていくうちに、少しずつ自分達のイメージする試合ができるようになりました。交流会では、一人一人が主役となり、声をかけあって、自分や相手チームの動きに応じたプレーが際立っていました。約5か月後には、最上級生になるという自覚も高まっているように感じました。



- 私は、バスケット交流会で後悔することは一つもありません。最初の頃は、全然ルールも分からず、トラベリングばかりだったけど、交流会では練習の成果を発揮して試合をすることができました。応援も、精一杯しました。
- 朝休み昼休みの練習をめげずに一生懸命やったから、交流会では練習以上の力を発揮でき、仲間と協力することができたと思います。仲間のことを信じて、パスを回したりシュートをきめたりすることができました。
- ぼくたちは、シュートやドリブル、パスの仕方やルールなどを先生に教えてもらいました。6年生にも練習をしてもらって、いろんな工夫を積み上げていきました。だから、心や体の強さと勇気を手に入れたと思います。そして、また一つ階段を上った気がします。バスケット以外のいろんな勉強も頑張っているから、頑張れたと思います。